

アカマツ林の異常枯損について

マツノザイセンチュウ病の沿岸部における最北端である大船渡市猪川町地内の標高320mほどの市有林で、樹齢39年のアカマツ52本が集団で枯損しているのが発見されました。

これまでに松枯れの被害の報告がない林分でしたが、近接地には、マツノザイセンチュウの寄生は確認されていないものの、単木的な枯損の報告がある地域でした。

現地調査を実施したところ、枯損したアカマツは尾根部分の半径15m程の円形であることがわかりました。

枯損木から11試料を採取して、マツノザイセンチュウの寄生の有無を確認する検査を実施した結果、マツノザイセンチュウは確認されませんでした。

枯損の原因は何だったのかという疑問が残ります。他の同様の事例等から推測すると、落雷による枯損の可能性が高いと思われます。

振興局では、松くい虫被害防除監視帯に続く地域であることから、今後も巡視による警戒を強化していく予定です。



アカマツ枯損の状況